

令和3年度 町内会活性化講座(相談会) 結果概要

相談テーマ② 高齢化・少子化による担い手不足へのアプローチ

日時:令和4年1月16日(日)13:00~14:30 場所:オンワード樺山仙台ビル10階ホール

●参加した町内会の現状や相談の内容

【青葉区】E町内会 (380世帯)

- ・役員の高齢化が進んでいる。声かけもできるだけしているが、集まらない。
- ・役員は7名くらいであるが、人手不足。特に行事の時は人手不足が顕著である。
- ・女性の参画も進めたい。

【太白区】F町内会 (250世帯)

- ・役員は20人で輪番制。少子高齢化に伴う担い手不足、役員の負担軽減が課題。
- ・「役員が回ってくるなら退会したい」という会員もいる。
- ・回覧や配布チラシの回数を月2回程度に減らす、連絡手段にLINEグループを活用するなどの取組をしている。

【太白区】G町内会 (70世帯)

- ・役員は8人程度だが、担い手がおらず、任期を4年にした。
- ・婦人会が高齢化しており、時代の流れを踏まえ必要なのかどうかを検討している。
- ・活動のスリム化が必要であると思うが、プロセスがわからない。

【若林区】H町内会 (500世帯)

- ・役員の高齢化が進んでおり、できそうな方に声をかけているが、特に若い方は仕事をしているためなかなか引き受けてもらえない。
- ・大きなお祭りのお手伝いは個別に依頼。



【講師からのアドバイス】高齢化・少子化による担い手不足へのアプローチのポイント

○アンケート調査の実施

- ・アンケート調査はしっかり見てもらえることが多い。町内会が抱える具体的な課題(担い手不足等)を伝え、協力の可能性を聞いてみると効果的。
- ・会員に対して、サポーターなどの立場での協力を依頼するときは、具体的にどのようなお手伝いを依頼したいのかを伝える(イベント運営の手伝い、高齢者見守り対応等)。
- ・「できる時に、できることだけ」の手伝いで良いという姿勢が大切である。

○活動の情報発信の強化

- ・Facebook やLINE などを用いて、町内会の活動を情報発信することも効果的。
- ・町内に住む学生にSNS投稿を手伝ってもらうなど、得意なことを生かす参加の仕方を提案してみる。